

図2※ 十勝岳 最近の火山活動経過図 (1995年1月～2007年10月) ↑印はごく小規模な噴火

- ・62-2 火口の噴煙活動はやや活発な状況が続いていましたが、2006年1月以降低下傾向が見られます。
- ・地震活動は1999年後半から比較的静穏に経過しています。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

表 1 十勝岳 地震・微動の月回数 (H点:山頂付近〔図3の TOKH〕 A点:山麓点〔図3の TOKA〕)

2006年~2007年	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
H点地震回数	83	76	90	54	23	15	23	19	10	7	8	10
A点地震回数*	6	8	9	12	5	4	5	6	4	2	0	0
H点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

*地震観測点A点は近傍での工事のため2007年5月24日より代替点として希望橋〔図3のKBBS〕のデータを使用しています。

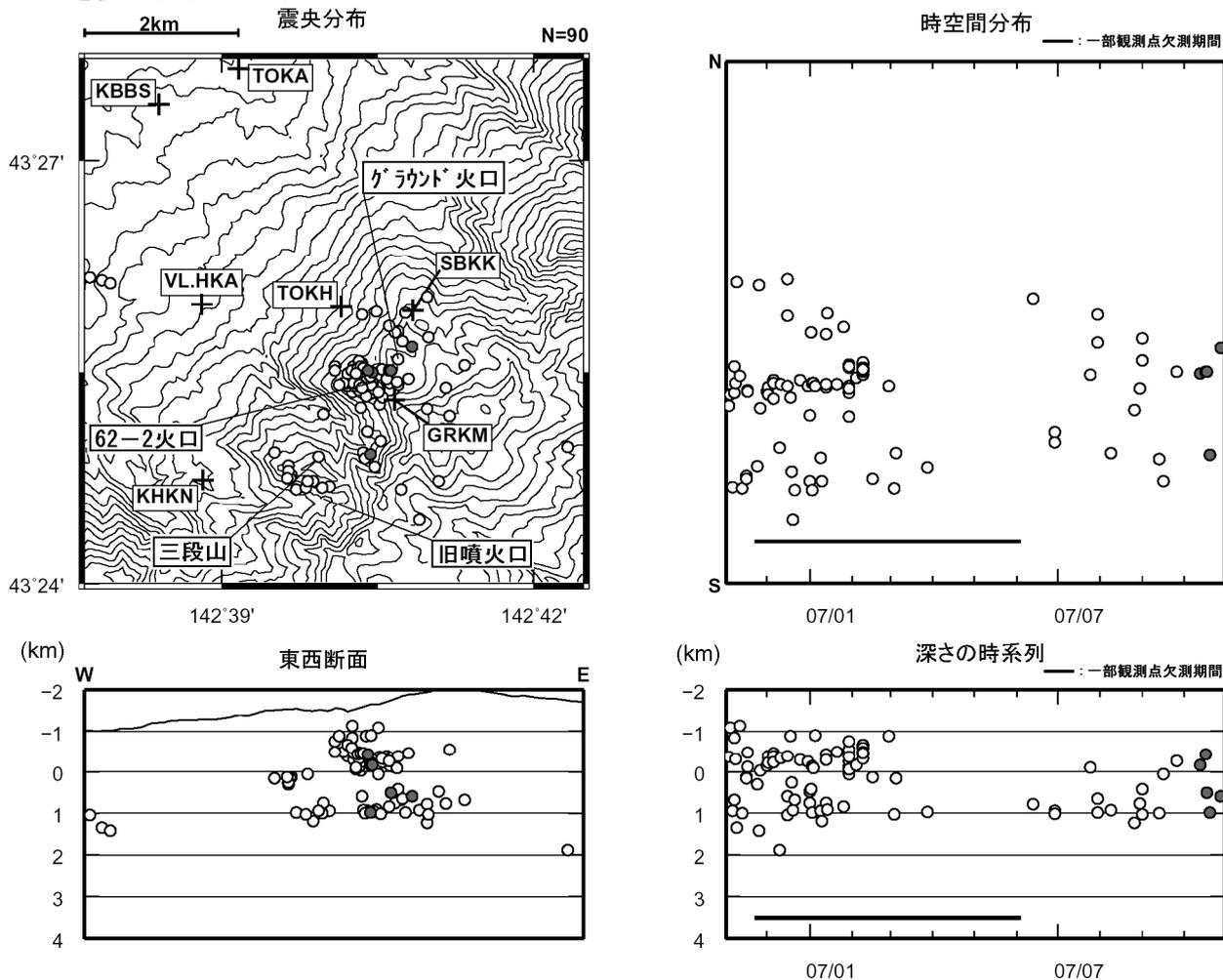


図3※ 十勝岳 震源分布図 (2006年11月~2007年10月、+は地震観測点)

表示期間中、2006年11月22日~2007年6月4日の期間は、一部観測点欠測のため震源決定数が減少し、精度も低下しています。

●印は今期間 (2007年10月) の震源

○印は前期間までの11ヶ月間 (2006年11月~2007年9月) の震源

・前期間までの震源はグラウンド火口周辺の浅い所 (山頂から深さ1~3km付近) に集中しているほか、三段山~旧噴火口周辺の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源も、概ねこの領域内に分布しています。

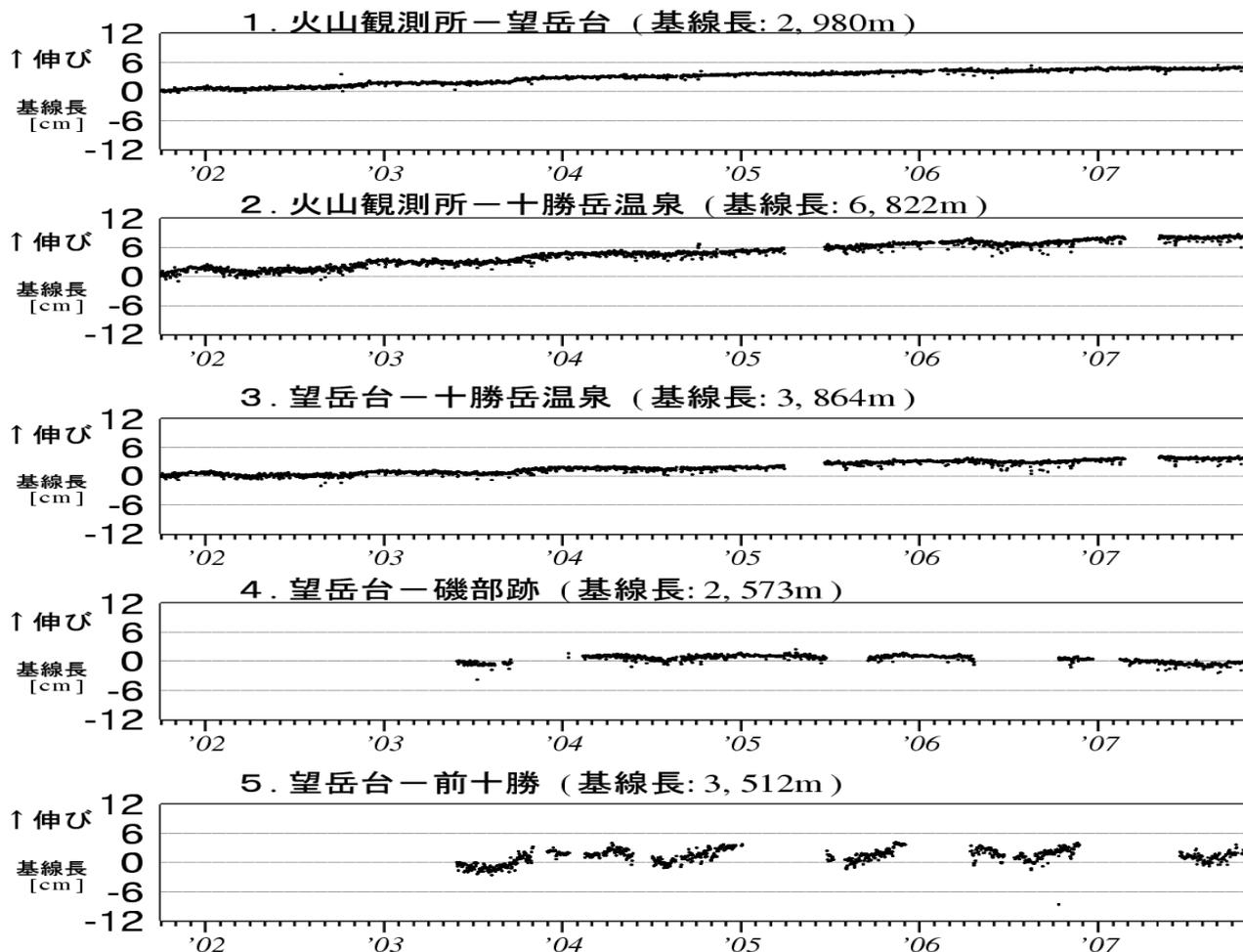


図 4 ※ 十勝岳 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 10 月～2007 年 10 月)
 グラフの空白部分は欠測
 図 4 の 1～5 は、図 5 の GPS 基線①～⑤に対応しています。

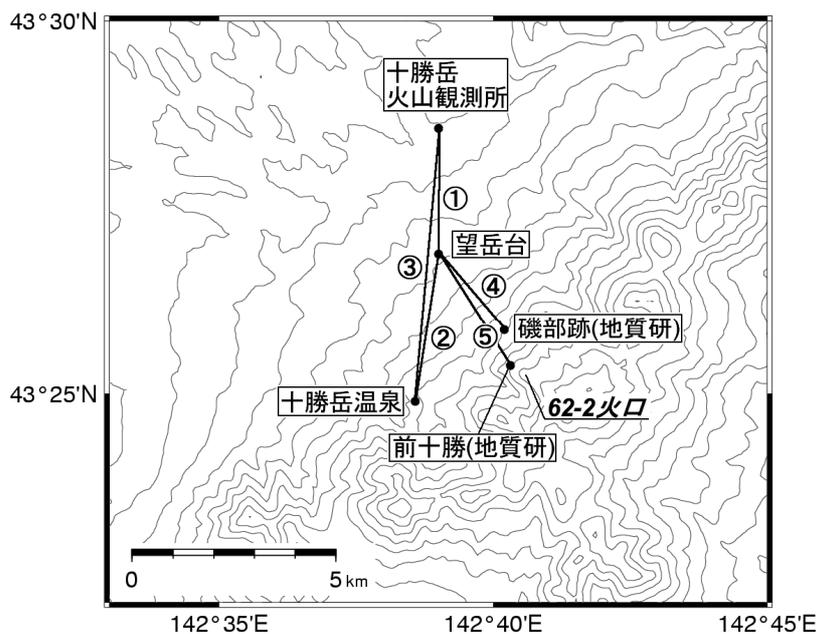


図 5 十勝岳 GPS 観測点配置図